

令和7年度神奈川県民大会
兼 第80回 国民スポーツ大会 柔道競技
少年男子の部 県予選会



日 時 6月21日(土)
受付 9時10時～
計量 9時10分～9時50分
開始 10時20分～

会 場 シンコースポーツ神奈川県立武道館
主 催 神奈川県柔道連盟
主 管 神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部

大会役員

会長	坂本 聡志						
副会長	吉田 和市	大川 一幸					
顧問	込山 英雄	高見澤 隆	二挺木幸雄	大塚 喜英			
	盛本 輝夫	鈴木 久男	万福 晶博	波多野和敬			
	児島 義明	栃本 章	吉川 勝啓	林田 和孝			
	金子 伸一	菅原 信明	山田 五郎	井上 信二			
	中川 治彦	川上 智一	鈴木 寛人				
参与	瀬尾 一幸	小野 充	廣瀬 裕	広瀬 邦彦	黒川 裕樹		

大会委員長	多田 功						
大会副委員長	獅々倉 聡	瀬戸 隆紀	藤田 崇史				
競技委員長	鏑木 文隆						
競技副委員長	平山 与八	古屋 善之	濱名 淳				
競技委員	栃本 章太	本田 卓	多田 昌人	聖生 晃史	中野 一		
	田中 雄士	村山 寛	山崎 博樹	福壽 亮	峯岸 義則		
	志村 優太	伊丹 裕子	武田 淳子	笠原 一重	仲島 達也		
	中島 慎二	水落 健太	八巻 祐	高田 宙			

審判委員長	平山 与八						
審判員	荒井 和輝	板垣 徳明	伊丹 裕子	請園 藍里	岡村 照大		
	笠原 一重	鹿嶋 優理	金子 竜彦	川島 衛	川口桜次郎		
	小池実枝子	古賀 颯人	齋藤 真純	酒井 勇輝	定光 勇太		
	志村 優太	聖生 晃史	関水 大八	高桑 洋志	高橋 良治		
	滝澤 萌	武田 淳子	多田 昌人	立川 佑	田中 昌也		
	田端 創円	栃本 章太	富澤 幹樹	富沢 裕一	中島 慎二		
	仲島 達也	中島 結樹	仲田 奈央	永富 新悟	長嶺 文哉		
	二階堂陽一	萩田 耕一	濱名 淳	濱本 峻	平沼 義浩		
	平松 慶	廣川真由美	福壽 亮	古屋 善之	堀田 正和		
	本田 卓	松井 絵吏	水落 健太	峯岸 義則	村山 寛		
	矢野 雄大	八巻 祐	山崎 博樹	山下 秋生	渡邊 秀一		

救護 佐藤 諒 浪花 颯真

補助役員

東海大学付属相模高等学校
 光明学園相模原高等学校
 日本大学藤沢高等学校
 立花学園高等学校

柔道部生徒
 柔道部生徒
 柔道部生徒
 柔道部生徒

令和7年度 第80回 国民スポーツ大会 柔道競技 少年男子の部 神奈川県 選考会 要項

- 1.主催：神奈川県柔道連盟
- 2.主管：神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部
- 3.日時：令和7年6月21日（土）午前10時20分開会(受付・計量：9時10分から9時50分まで)
- 4.場所：シンコースポーツ神奈川県立武道館(住所：横浜市港北区岸根町 725 電話：045-491-4321)
- 5.参加資格（詳細は大会参加共通事項参照）
 - (1) 令和7年度（財）全日本柔道連盟にオンライン登録を完了した者であること。
 - (2) 平成19年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年の出場は1回限りとする。

6.競技種目

少年男子の部

(1) 下記の体重区分による。各階級への参加申込人数は、最大6名までとする。

- ①先鋒の部（60kg 以下）
- ②次鋒の部（60kg を超えて 73kg 以下）
- ③中堅の部（73kg を超えて 90kg 以下）
- ④副将の部（90kg を超えて 100kg 以下）
- ⑤大将の部（無差別）

(2) 登録選手の体重が登録階級の体重区分にない場合は失格とする。

7.試合規定：大会参加共通事項参照

8.計量規定：大会参加共通事項参照

9.表彰：各階級第5位まで賞状を贈る。

10.申込方法

(1) 申込方法について

① 神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部ホームページから申込書（Excel ファイル）をダウンロードする。

② 必要事項を入力した後、事務局へ申込書（Excel ファイル）をメールにて添付・送信する。

③ 申込書（Excel ファイル）をプリントアウトし、事務局（県立鶴見総合高等学校）へ郵送する。

(2) 申込期間：令和7年5月26日（月）から令和7年6月2日（月）までとする。

(注) 申込期間最終日に必着するように郵送で申し込む。申込期限の過ぎたものはいかなる理由でも受け付けない。また申込書（Excel ファイル）も期日までに事務局へメール送信を完了させる。

(3) 申込先

郵送先

〒230-0031 横浜市鶴見区平安町 2-28-8 県立鶴見総合高等学校内
神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部 事務局 栃本 章太 宛

申込書（Excel ファイル）メール送信アドレス

tochimoto-4nk@pen-kanagawa.ed.jp

(4) 封筒には「国スポ選考会申込書 在中」と朱書き（赤記入）する。

(5) 学校長の認印のないものは無効とする。(注) 認印＝校長印 捺印

(6) 原則 1 名以上審判もしくは競技役員として申込書に顧問氏名の記入をすること。

(審判もしくは競技役員を行う職員には高体連が昼食を準備する。)

(7) 参加料は、1 名 ¥1,100 (¥1,000+保険料¥100) とし、申込期日までに以下の預金口座（振込先）に振り込むこと。(注) 期日までに入金がなかった場合は出場を認めない。

預金口座（振込先）

① 銀行名・支店：横浜銀行 横浜駅前支店（店番号 383）

② 口座番号：普通 6525385

③ 口座名：神奈川県高体連柔道専門部 会計 栃本章太

振り込みの際に振込依頼人には「高体連コード」及び「学校名」を（個人名は不可）入力すること。

（例）県相模原中等教育学校 → 6 0 3 6 ケンサガミハラチユウトウ

（注）振り込みにかかる手数料は各校で負担すること。

（注）所定の預金口座（振込先）以外の振り込みは認めない。

1 1.その他

（1）男子については令和7年度国民スポーツ大会選考会の試合結果と令和6年度関東高等学校選抜柔道大会
県予選会・令和6年度全国選手権大会神奈川県予選会・令和7年度全国総合体育大会神奈川県予選会・
これまでの各種関東・全国大会の試合結果を選考対象とし、6月21日（土）の常任委員会において推
薦選手を決定する。ただし、最終選考については神奈川県柔道連盟が行う。

（2）選手変更や柔道衣等について別紙大会参加共通事項に掲載しているのを確認すること。

（3）大会運営(大会準備・受付・開閉会式・片付け等)の担当は川崎・北相地区とする。

試合進行表

時間	第1試合場 1-				第2試合場 2-				第3試合場 3-				第4試合場 4-			
	階級	round	試合番号	試合数												
	次鋒の部	1回戦	1・2	2												
	中堅の部	1回戦	3・4	2												
	先鋒の部	1回戦	5～9	5	先鋒の部	1回戦	5～8	4	先鋒の部	1回戦	5～8	4	先鋒の部	1回戦	5～8	4
	次鋒の部	2回戦	10～17	8	次鋒の部	2回戦	9～16	8	次鋒の部	2回戦	9～16	8	次鋒の部	2回戦	9～16	8
	中堅の部	2回戦	18～25	8	中堅の部	2回戦	17～24	8	中堅の部	2回戦	17～24	8	中堅の部	2回戦	17～24	8
	副将の部	1回戦	26	1	副将の部	1回戦	25・26	2	副将の部	1回戦	25	1	副将の部	1回戦	25	1
	大将の部	8決	27・28	2	大将の部	8決	27・28	2	大将の部	8決	26・27	2	大将の部	8決	26・27	2
	先鋒の部	2回戦	29～32	4	先鋒の部	2回戦	29～32	4	先鋒の部	2回戦	28～31	4	先鋒の部	2回戦	28～31	4
	次鋒の部	3回戦	33～36	4	次鋒の部	3回戦	33～36	4	次鋒の部	3回戦	32～35	4	次鋒の部	3回戦	32～35	4
	中堅の部	3回戦	37～40	4	中堅の部	3回戦	37～40	4	中堅の部	3回戦	36～39	4	中堅の部	3回戦	36～39	4
	副将の部	8決	41・42	2	副将の部	8決	41・42	2	副将の部	8決	40・41	2	副将の部	8決	40・41	2
	先鋒の部	8決	43・44	2	先鋒の部	8決	43・44	2	先鋒の部	8決	42・43	2	先鋒の部	8決	42・43	2
	次鋒の部	8決	45・46	2	次鋒の部	8決	45・46	2	次鋒の部	8決	44・45	2	次鋒の部	8決	44・45	2
	中堅の部	8決	47・48	2	中堅の部	8決	47・48	2	中堅の部	8決	46・47	2	中堅の部	8決	46・47	2

試合同時開始

	第1試合場 ①-				第2試合場 ②-				第3試合場 ③-				第4試合場 ④-			
	先鋒の部	準々決勝	1	1												
	次鋒の部	準々決勝	2	1												
	中堅の部	準々決勝	3	1												
	副将の部	準々決勝	4	1												
	大将の部	準々決勝	5	1												

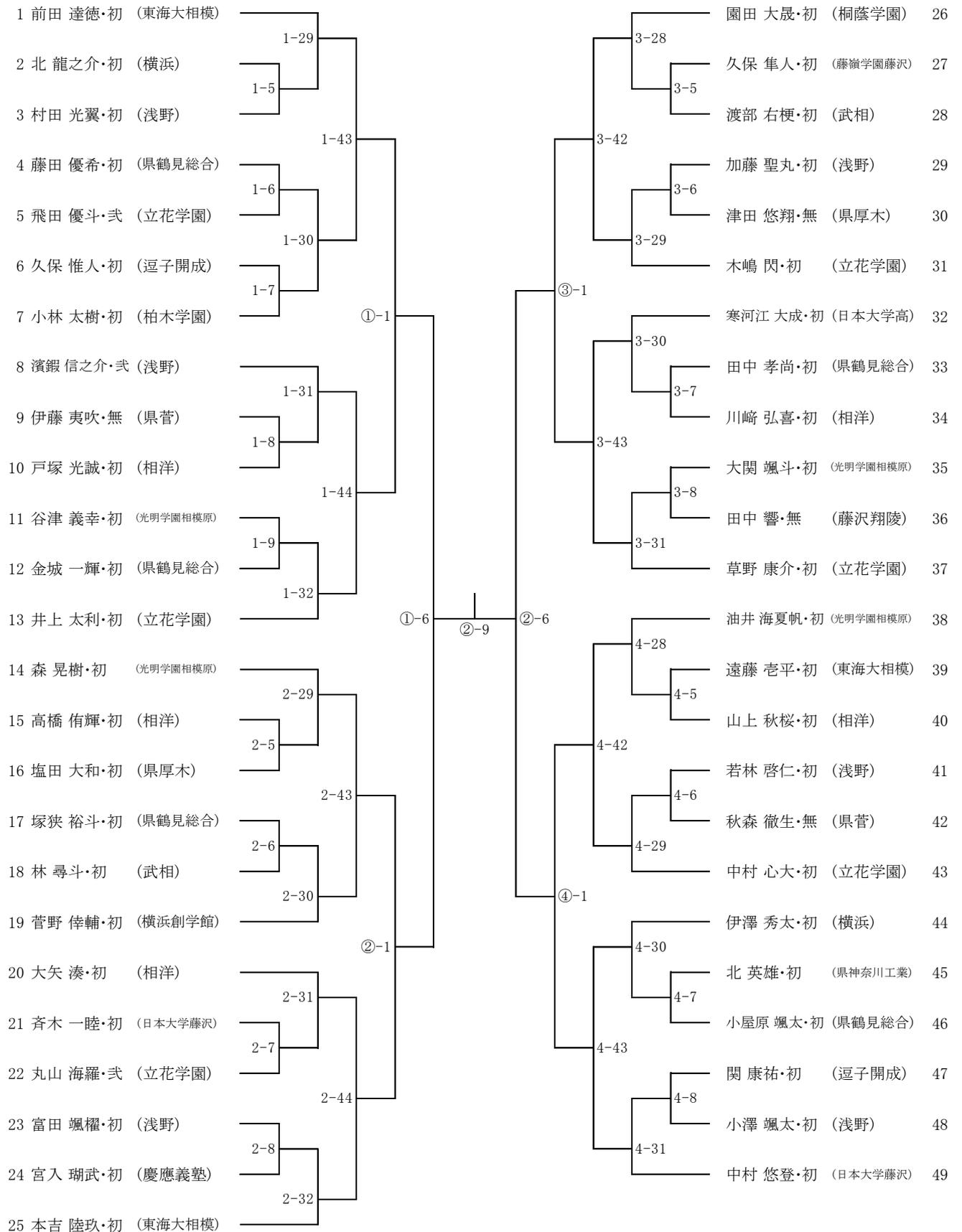
試合同時開始

	先鋒の部	準決勝	6	1	先鋒の部	準決勝	6	1	次鋒の部	準決勝	6	1	次鋒の部	準決勝	6	1
	中堅の部	準決勝	7	1	中堅の部	準決勝	7	1	副将の部	準決勝	7	1	副将の部	準決勝	7	1
					大将の部	準決勝	8	1	大将の部	準決勝	8	1				

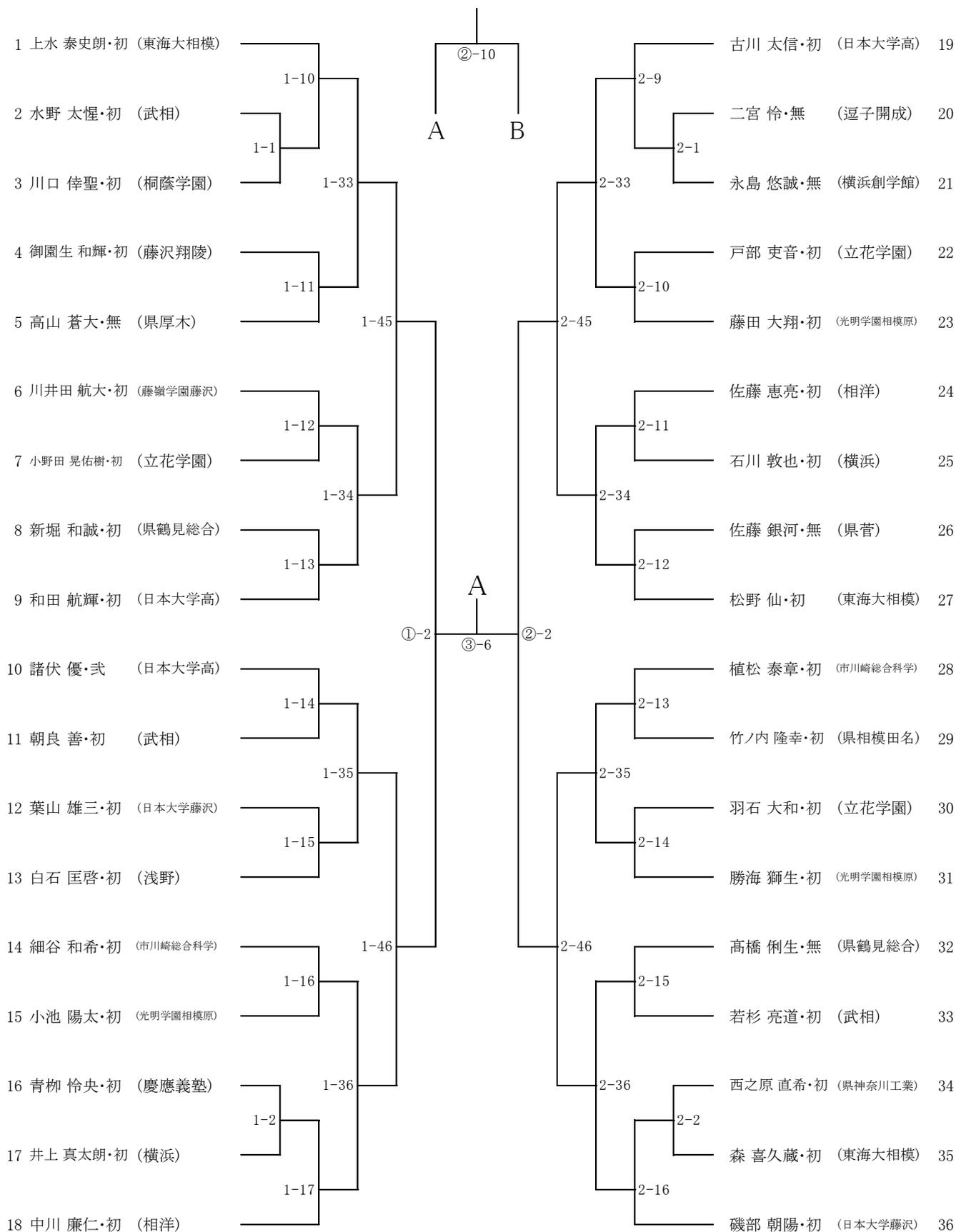
会場整備

			先鋒の部	決勝	9	1										
			次鋒の部	決勝	10	1										
			中堅の部	決勝	11	1										
			副将の部	決勝	12	1										
			大将の部	決勝	13	1										

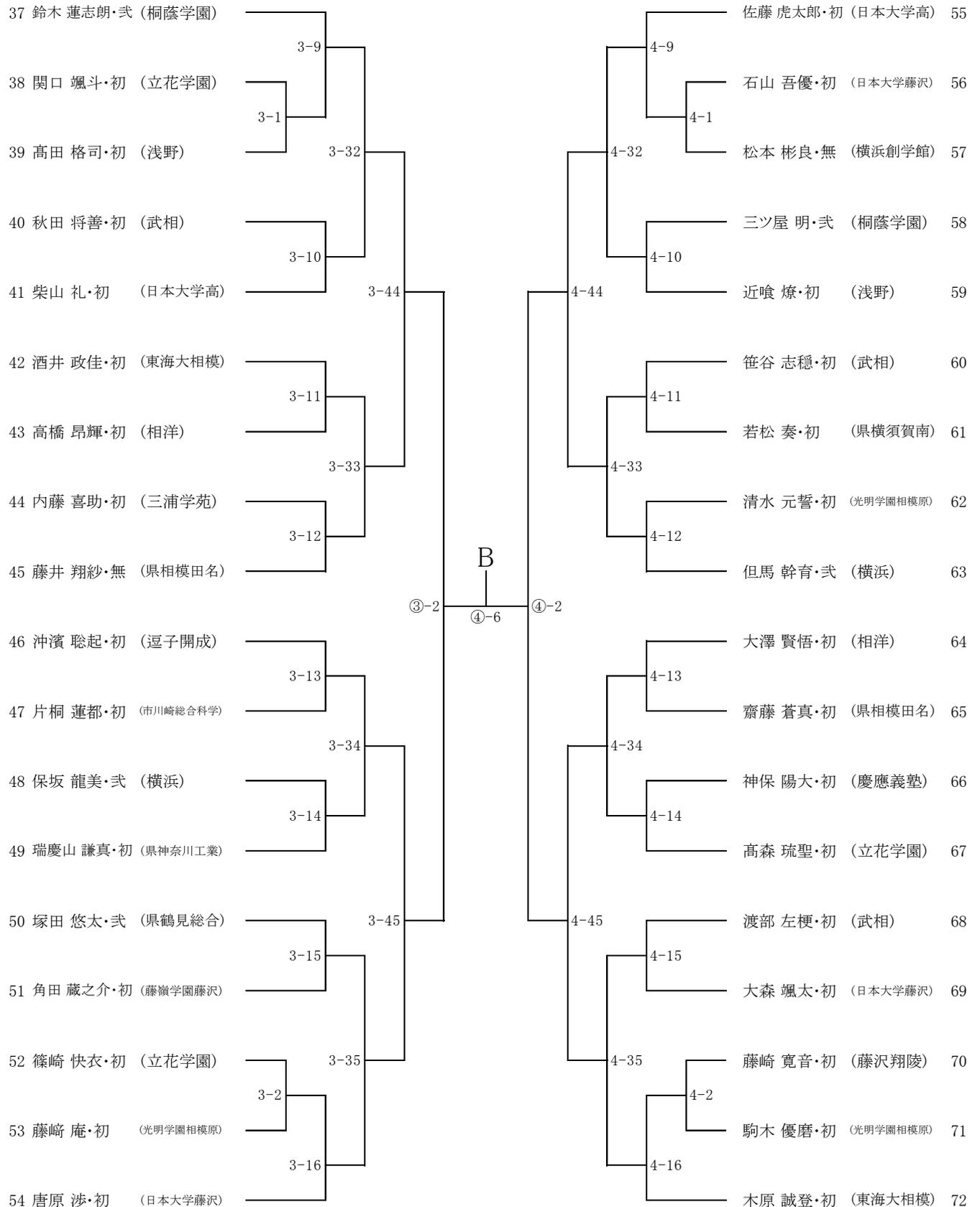
先鋒の部



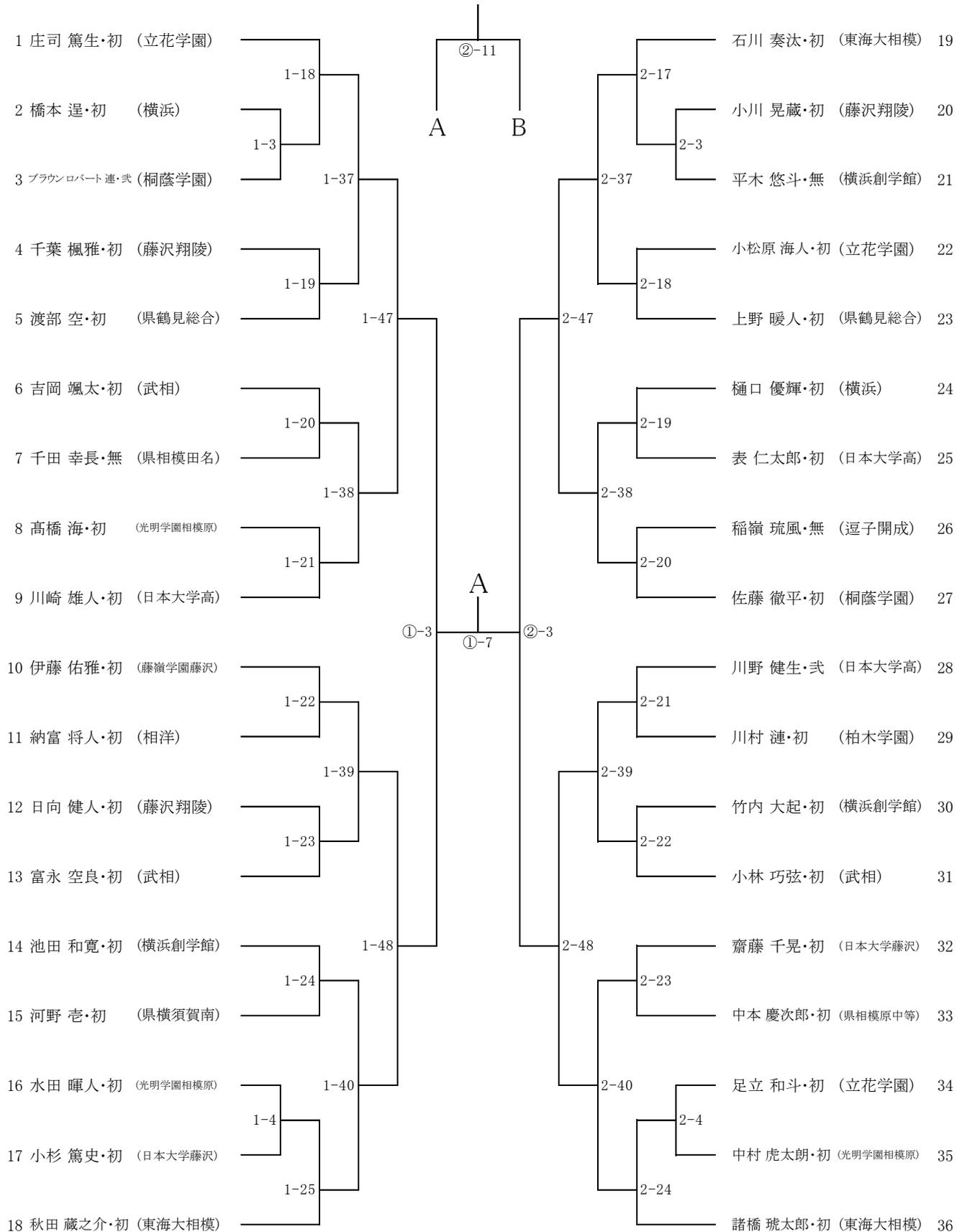
次鋒の部(1)



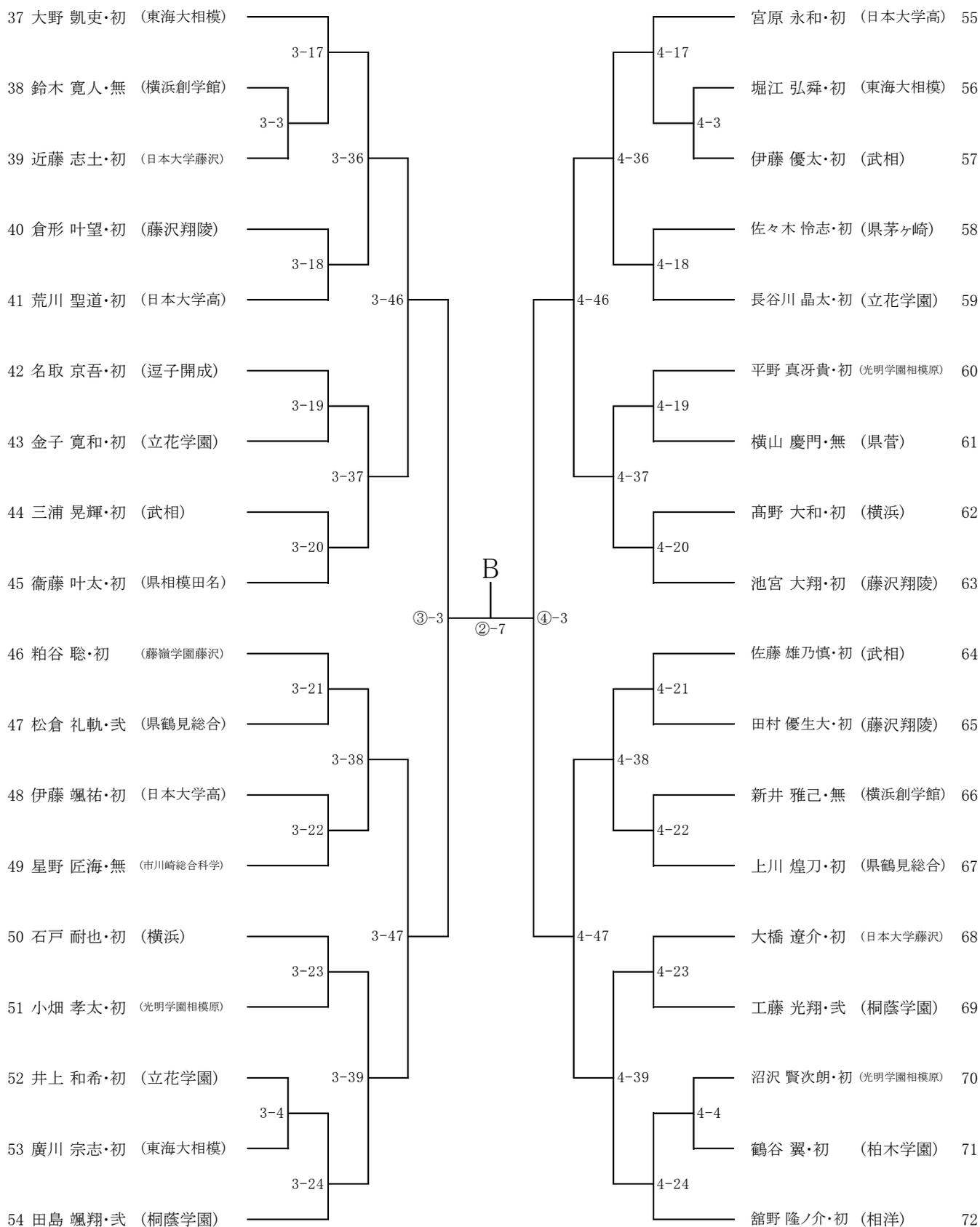
次鋒の部(2)



中堅の部(1)

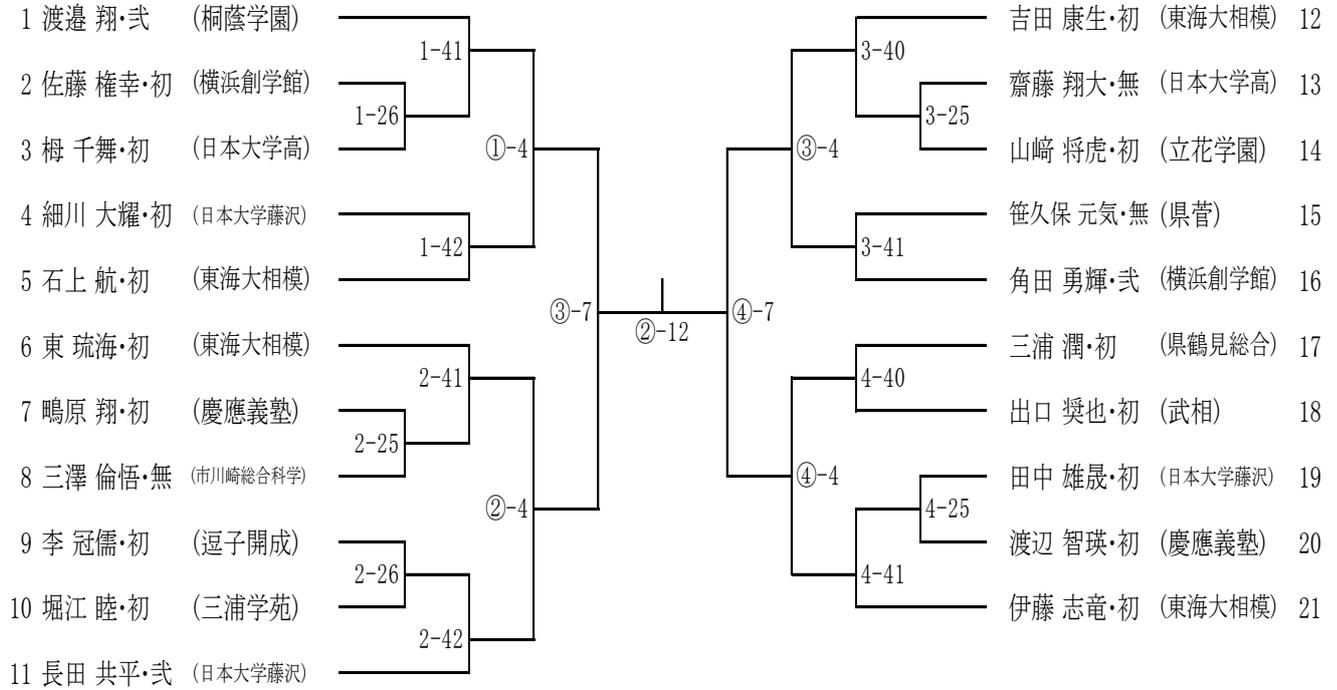


中堅の部(2)



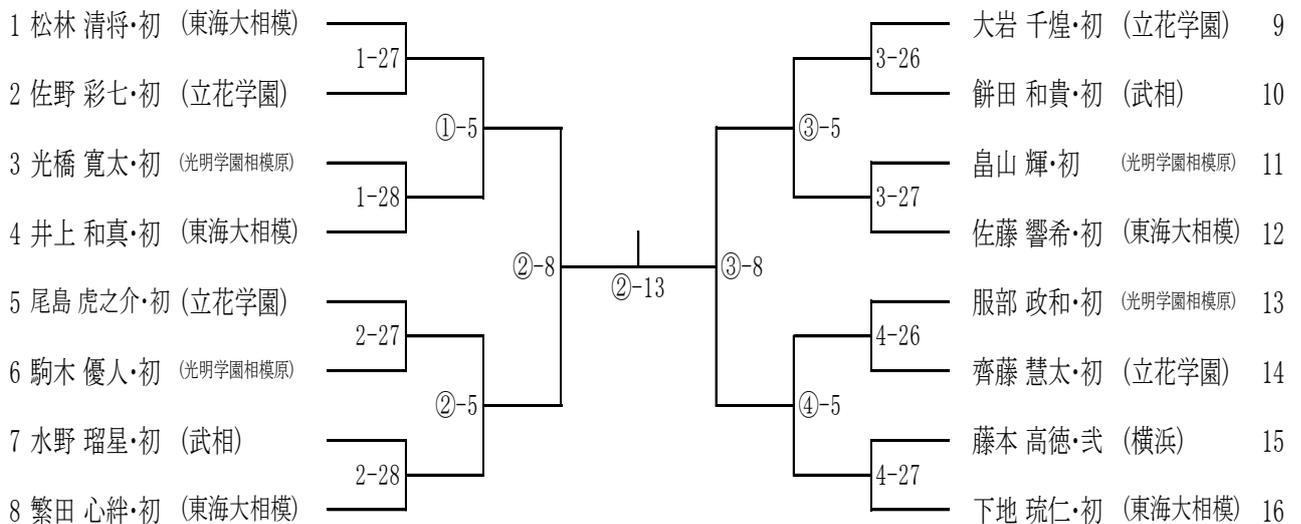
令和7年度国民スポーツ大会選考会
 令和7年6月21日(土)
 シンコースポーツ神奈川県立武道館

副将の部



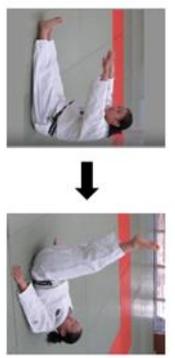
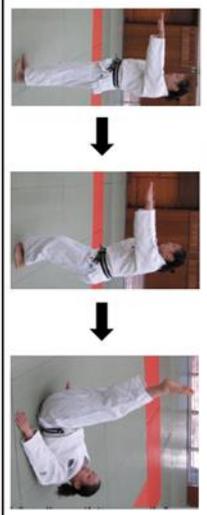
令和7年度国民スポーツ大会選考会
 令和7年6月21日(土)
 シンコースポーツ神奈川県立武道館

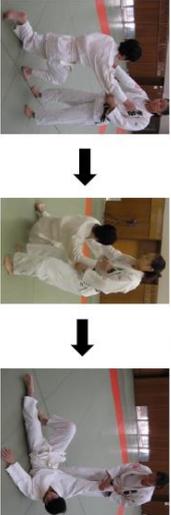
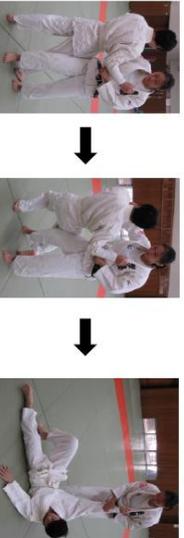
大将の部

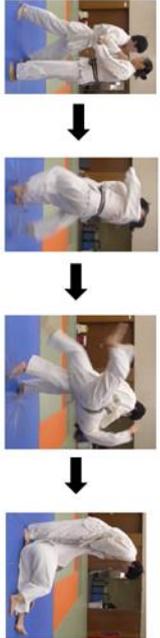




大外刈段階的指導手順例

<p>第一段階 単独で受け身ができる</p> <p>第一 段階</p> <p>○練習の内容</p> <p>1 ① 長座の姿勢からの受け身</p>  <p>1 ② 中腰の姿勢からの受け身</p> 	<p>1 ③ 立位からの受け身</p>  <p>○練習時間の目安 (60～90分で週3～4回程度の場合)</p> <p>・2～3週間程度</p>	<p>○見極めのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭を引き、頭が振れない受け身ができているか ・体幹が落ちる寸前に、随全体で畳を打つ受け身ができているか
--	---	--

<p>第二段階 相手の動作に対応した受け身ができる</p>	<p>○練習の内容</p> <p>2① 片膝をついた姿勢から大外刈の崩し、体さばきに対応した受け身</p>  <p>2② 片膝をついた姿勢から大外掛（通称）に対応した受け身 （刈り足を量について、相手を引き上げて安全を確保する）</p>  <p>2③ 立位から大外掛（通称）に対応した受け身 （刈り足を量について、相手を引き上げて安全を確保する）</p>  <p>○練習時間の目安（60～90分で週3～4回程度の場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1段階修了後、1～2ヶ月間程度 <p>○見極めのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭を引き、頭が振れない受け身ができているか ・体幹が落ちる寸前に、腕全体で量を打つ受け身ができているか ・取りは引き手を離さず保持しているか
-----------------------------------	--

<p>第三段階 初歩的な大外刈に対応した受け身ができる</p>	<p>○練習の内容</p> <p>3① 刈りあげない大外刈に対応した受け身</p>  <p>3② その場での大外刈に対応した受け身</p>  <p>○練習時間の目安（60～90分で週3～4回程度の場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2段階修了後、3ヶ月間程度 <p>○見極めのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭を引き、頭が振れない受け身ができているか ・体幹が落ちる寸前に、腕全体で量を打つ受け身ができているか ・取りは引き手を離さず保持しているか <p>注-1：第三段階までの技能習得レベルを個々に評価し、安全を見極めてから次へ（投げ込み、乱取り）進むこと。</p> <p>注-2：他校との合同練習や公式試合への参加の可否についても同様に判断すること。</p> <p>注-3：大内刈、小内刈など後ろに掛される技についても同様に確認すること。</p> <p>注-4：基礎体力、特に首周辺の筋力強化のトレーニングも並行して行うこと。</p> <p>注-5：練習で組み合うときには、体力差、体格差、技能差、運動経験の違いを考慮に入れること。</p>
-------------------------------------	---

柔道練習ステップ

	ステップ1(基本動作・打ち込みレベル)	ステップ2(投げ込みレベル)	ステップ3(乱取りレベル)
基本的な事項	<ul style="list-style-type: none"> 決められた安全のための約束事やマナーが守れる。(真剣に取り組む。礼法やあいさつ・返事ができる。) みだしなみを整えることができる。(柔道衣を正しく着られる、つめを切る、髪を束ねる、固いものを身に付けない等) ブリッジ、腕立て伏せ、腹筋、背筋等の体力を高める運動ができる。 前転後転などの回転運動がスムーズにできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指示を受けるだけでなく、自ら進んで稽古ができる。 仲間と協調して、自他を尊重できる。(話し合い、助け合い、高め合い) 投げ込みに耐える筋力、持久力がある。 「一本」「技有り」等の違いが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手への思いやりの行動、言動ができる。(乱暴な言動、しぐさ等がない。) 周囲の安全に配慮した行動ができる。 審判規定が分かり、禁止事項が守れる。 3～5試合を行える体力がある。
受け身	<ul style="list-style-type: none"> 単独で受け身ができる。(後ろ受け身、横受け身、前受け身、前回り受け身) 相手に圧力(押される等)をかけられて単独の受け身ができる。 膝をついた姿勢や立ち姿勢からゆっくり投げられて受け身ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 障害物を超える受け身ができる。 その場、移動、連絡技で投げられて受け身ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 返し技や捨て身技等で投げられても受け身ができる。 投げられた時に、体をひねったり無理な体勢(ブリッジ等)を取らず受け身ができる。
投げ技	<ul style="list-style-type: none"> 投げ技の基本動作ができる。(基本的な組み方、進退動作、崩し、体さばき等) 2種類以上の投げ技で打ち込みができる。(膝車、支釣込足、出足払、体落、大腰等) 	<ul style="list-style-type: none"> その場で投げる事ができる。(捨て身技を除く)(自分の体勢を崩さない、引き手を離さず、相手を保護できる。) (同体で倒れない、巻き込まない、頭を突っ込まない等) 移動しながら得意技で投げる事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 乱取りで自分の体勢を崩さずに投げる事ができる。 乱取りで引き手を離さず、相手を保護できる。 相手の技能程度に応じた乱取りができる。(三様の乱取り)※
固め技	<ul style="list-style-type: none"> 固め技の基本動作、補助運動ができる。(体を開く、体を横にかわず、腋をしめる、脚を回す、脚を伸ばす等の動作、基本的な入り方と返し方) 2種類以上の抑え込み技ができる。(袈裟固、横四方固、上四方固等) 	<ul style="list-style-type: none"> 抑え込み技とその逃げ方ができる。 膝をついた姿勢、仰向けの姿勢から抑え込み技の攻防ができる。(頸の関節及び脊椎を痛めずに攻防ができる) 	<ul style="list-style-type: none"> 絞め技の攻防ができる。(中学生以上) 関節技の攻防ができる。(高校生以上) 乱取りで攻防ができる。 立ち姿勢から寝技への移行ができる。

※三様の乱取り:技能程度の高い相手、技能程度が同等の相手、技能程度の低い相手と、それぞれ相手の技能程度に応じて行う乱取り。

平成27年3月31日 作成

保険の加入と申請方法について

※この大会は参加選手全員が傷害保険に加入しています。

大会において怪我をした場合は

下記の「あいおいニッセイ同和インシュアランスサービス株式会社 湘南支社」
ご連絡の上、保険金申請手続きを各自で行ってください。

補償項目	保険金額・日額
死亡・後遺障害	1,000 千円
入院保険金日額	1,500 円
通院保険金日額	1,000 円

連絡先

あいおいニッセイ同和インシュアランスサービス株式会社 湘南支社

藤沢市南藤沢 5-9 朝日生命藤沢ビル 2F

「神奈川県高体連柔道専門部」と告げてください。

電話 0466-47-6834

日本工学院八王子専門学校

スポーツ・医療カレッジ 柔道整復科

柔道整復師とは

骨折や脱臼、捻挫などのケガを治す、厚生労働大臣認定の
国家資格を持つプロフェッショナル



全日制で社会で活躍できる人材の育成

入学から国家試験までの流れ

- Point 1 医療人としての自覚と人間性を育む
- Point 2 医療・スポーツ分野に対応した幅広いカリキュラム
- Point 3 徹底したバックアップによる万全の国家試験対策

本校の国家試験・合格率

88.2% (全国平均 57.8%)

スポーツトレーナーの資格の取得

JATAC 認定 アスレチック・トレーナー【柔道整復師国家試験合格後認定】

JATI 認定 トレーニング指導者【受験資格】

詳しくはこちらから

柔道整復科 Instagram



柔道整復科 HP



OC・体験入学日程



東京都八王子市片倉町 1401-1

日本工学院八王子専門学校 Tel : 042-632-5115(直)

武道館避難経路

◎緊急放送や職員・大会主催者の指示に従って、落ち着いて避難してください

<弓道場>

- 射場・師範室からは、屋外巻わら場へ出る
- 観覧席・更衣室からは、玄関方面へ
- 渡り廊下の扉からは備え付けの鍵で開錠し屋外へ出る

<小道場・師範室・更衣室>

- 廊下に出て玄関方面へ
- 廊下に出て階段を下り、職員通用口または駐車場から屋外へ
- ※職員通用口は館内から開錠できます（目的外利用禁止）
- 駐車場シャッターが動けば駐車場からも屋外へ

<1階>

★：AED（2箇所設置）



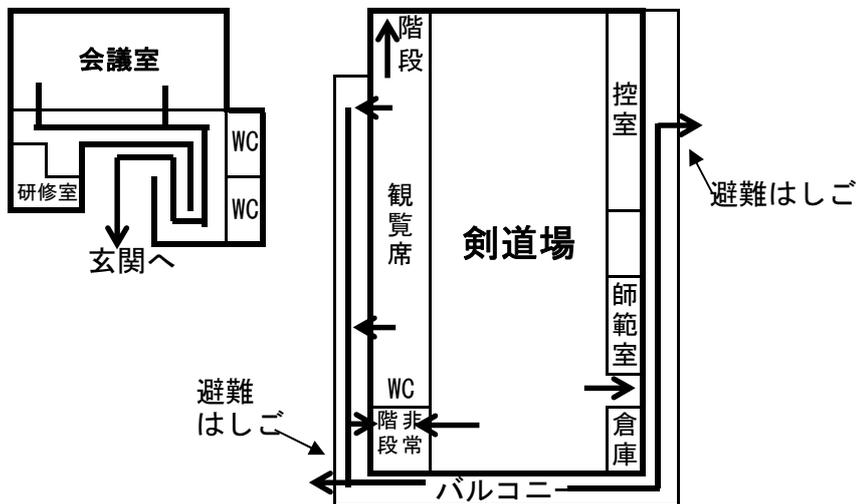
<柔道場>

- 観覧席から屋外へ出る
- 観覧席から階段を上り玄関方面へ
- 試合場から給湯室、非常口、観覧席から屋外へ

<剣道場>

- 観覧席から階段を下り玄関方面へ
- 観覧席からバルコニーへ出て、避難はしご又は非常階段を下りる
- 試合場から観覧席、給湯室からバルコニーへ出る
- 試合場から非常階段・通常階段を下りて柔道場非常口・玄関方面へ

<2階> ※会議室は玄関広間2階、剣道場は柔道場の上階



※剣道場非常階段は柔道場非常口に通じる

<会議室>

- 階段を下りて玄関へ

<全体>

- ◎各階段の幅が狭いので、慌てずに避難してください。
- ◎巨大地震の際は瓦の落下にご注意ください。
- ◎剣道場～柔道場の非常階段には荷物を置かないでください。
- ◎各道場観覧席後方の通路は荷物を置かず、十分な広さを確保してください。
- ◎出火の際は近くの火災報知器のボタンを強く押してください。
- ◎裸足の方がほとんどですので、破片等に注意してください。

大会に関する申し合わせ事項

大会運営について

- (1) 各学校引率責任者は「試合上の注意・運営上の注意」前までに本部受付にて受付を行う。
- (2) 大会中の選手の行動については柔道選手としてふさわしいものであるよう指導する。
- (3) 貴重品は各学校で責任をもって保管する。
- (4) 更衣は決められた場所で行ない、廊下等では行わない。決められた場所以外に不用意に立ち入らない。また、更衣場には敷物等を敷かない。
- (5) ビン類（ガラス容器）の持ち込みは固く禁止する。
- (6) 各校で出したゴミは必ず持ち帰る。特に弁当の食べ終わった容器をそのままにしない。
- (7) 有事には係員の指示に従い避難する。各自でパンフレット巻末に掲載されている避難経路を確認すること。

4試合会場図(正式試合会場)

